

感動共奏都市

IKEBUKURO MIRAI VISION

Ver.1

池袋未来ビジョン



目次

1. はじめに

- 1 ごあいさつ 4
- 2 池袋エリアプラットフォームと池袋未来ビジョンについて 6
- 3 池袋未来ビジョンの範囲 7
- 4 池袋のまちづくり年表 8
- 5 池袋の未来について思うこと 10
- 6 池袋エリアプラットフォームが考えるこれからのまちづくりの考え方 11

2. まちづくりの今を、探究しよう

- 1 世界を知り、日本を知る 14
- 2 池袋のまちの今を知る 16
- 3 まちの声、これからの池袋に向けて 20
- 4 未来を描く「切り口」 22

3. 未来ビジョン

- 1 未来に向けて、つなぐこと 25
- 2 まちづくりのコンセプト 26
- 3 実現したい3つのまちの姿 27
- 4 将来の池袋のまちで描きたいシーン 28
- 5 池袋未来ビジョンの全体像 30

4. 実現に向けてすべきこと

- 1 池袋エリアプラットフォームの取組み 32
- 2 池袋エリアプラットフォームの取組みの進め方・ロードマップ 34



IKEBUKURO
MIRAI
VISION 1

はじめに

1 はじめに 1 ごあいさつ

真に「人中心のまち」を目指して

『ウォーカブルなまちづくり』一。

これは、豊島区が池袋エリアの関係者と共に進めている基本的なまちづくりの方向性です。

ここ数年、池袋駅周辺では、ハード・ソフトを含めて多様なまちづくりの取組みが公共施設を中心に進められてきました。

私たちは、これからも進んでいく池袋駅周辺の大きな都市再生の動きを重要な機会と捉え、池袋という土壌で培ってきた民間ならではの豊かで創造的なアイデアと推進力・機動力・競争力のある取組みを力強く進めることで、池袋がいつまでも人々を惹きつける、魅力に溢れた人中心のまちとなることを大きな目標に、民間が主体となってまちづくりを進める共同体

「池袋エリアプラットフォーム」を組成し、

まずは行動指針となる「未来ビジョン」を描くことにしました。

私たちにとって、この未来ビジョンは

“池袋ならではのウォーカブルなまち”に近づくための序章に過ぎません。

会員の皆さんと、地域一丸となって、「池袋が好き!」と

愛着を持っていただけるまちづくりを、私たちは積極的に進めて参ります。

2024年(令和6年)3月
池袋エリアプラットフォーム 理事長
合場直人(株式会社サンシャインシティ)





池袋エリアプラットフォーム 会員一覧 [50音順] 2024年(令和6年)3月現在

私たちが一丸となって「池袋未来ビジョン」の実現を目指します。

役員

株式会社アニメイトホールディングス
 巢鴨信用金庫
 東京建物株式会社
 一般社団法人豊島区観光協会

栄真株式会社
 NPO法人ゼファー池袋まちづくり
 東武鉄道株式会社
 豊島区商店街連合会

NTTアーバンソリューションズ株式会社
 株式会社そごう・西武 西武池袋本店
 独立行政法人都市再生機構
 日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタン

株式会社サンシャインシティ
 東京商工会議所豊島支部
 豊島区
 ロサラード株式会社

会員

特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン
 株式会社池袋ショッピングパーク
 池袋西口商店街連合会
 株式会社エリース東京
 医療法人社団 久福会 関野病院
 株式会社建設環境研究所
 株式会社サンケイビル
 株式会社GENDA GiGO Entertainment
 株式会社西武リアルティソリューションズ
 大和ハウス工業株式会社
 東京ガス不動産株式会社
 一般社団法人としまアートカルチャーまちづくり協議会
 公益社団法人豊島法人会
 日本都市ファンド投資法人
 一般社団法人Hareza 池袋エリアマネジメント
 株式会社日比谷アメニス
 朋有小PTA
 立教大学
 株式会社レッツエンジョイ東京

株式会社アール・エス・シー
 池袋地域冷暖房株式会社
 池袋平和通り商店街振興組合
 大林新星和不動産株式会社
 近代産業株式会社
 株式会社講談社 Mixalive TOKYO
 株式会社サンシャインエンタプライズ
 住友不動産株式会社
 株式会社セレスポ
 株式会社竹中工務店
 東京信用金庫
 一般社団法人豊島区建築設計事務所協会
 公益財団法人としま未来文化財団
 株式会社nest
 東日本電信電話株式会社
 ヒューリック株式会社
 株式会社ポニーキャニオン・harevutai
 株式会社良品計画

アイディアファクトリー株式会社
 池袋西口駅前商店会
 WILLER株式会社
 鹿島建設株式会社
 株式会社クレディセゾン
 株式会社黒龍堂
 株式会社サンシャインシティ・ビルマネジメント
 西武造園株式会社
 株式会社Sonoligo
 チノ・ヘリテージス株式会社
 東京地下鉄株式会社
 豊島区町会連合会
 TOHOシネマズ株式会社
 野村不動産株式会社
 東日本旅客鉄道株式会社
 株式会社フォルテミュージック
 株式会社みずほ銀行
 株式会社Luup

池袋北口駅前商店街
 池袋西口駅前名店街
 株式会社NKB
 有限会社菊邑
 株式会社グローバルトラストネットワークス
 株式会社シーガルハウス
 西武鉄道株式会社
 大成建設株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社
 株式会社東武百貨店
 一般社団法人豊島産業協会
 株式会社日本政策投資銀行
 株式会社パルコ
 株式会社ビックカメラ
 特定非営利活動法人ブランディングポート
 三菱地所株式会社
 株式会社ルミネ

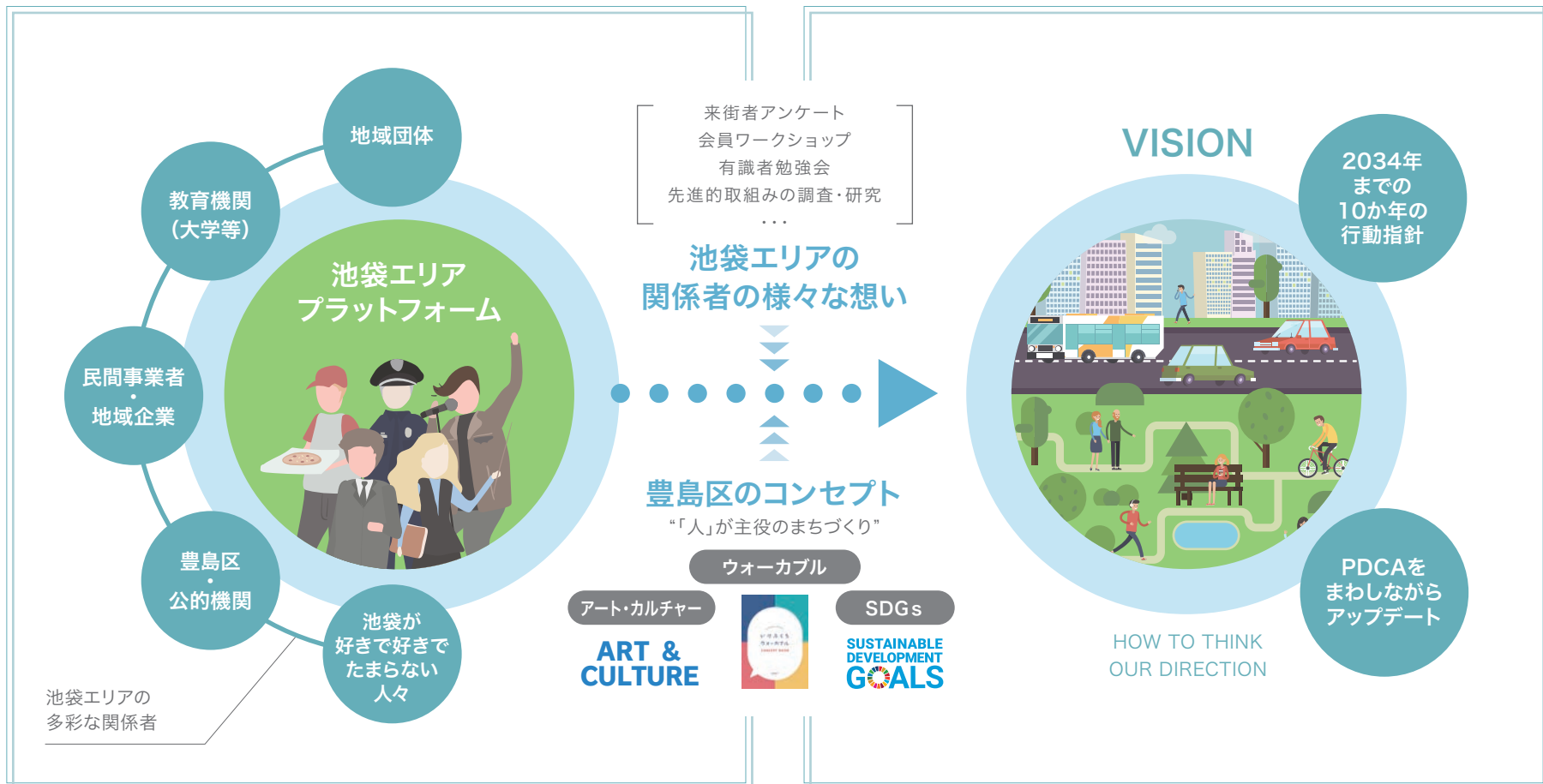
事務局 株式会社サンシャインシティ / 東京建物株式会社 / 独立行政法人都市再生機構 / 豊島区

『池袋エリアプラットフォーム』とは

地域主体・民間主導で池袋のまちを育て、
価値を共創していくための協働・連携体制です。

『池袋未来ビジョン』とは

池袋ならではのウォーカブルなまちづくりの将来像と
その実現に向け、随時アップデートすることを前提とした
私たちの「取組みの考え方や方向性、行動指針」を示したものです。



3 池袋未来ビジョンの範囲



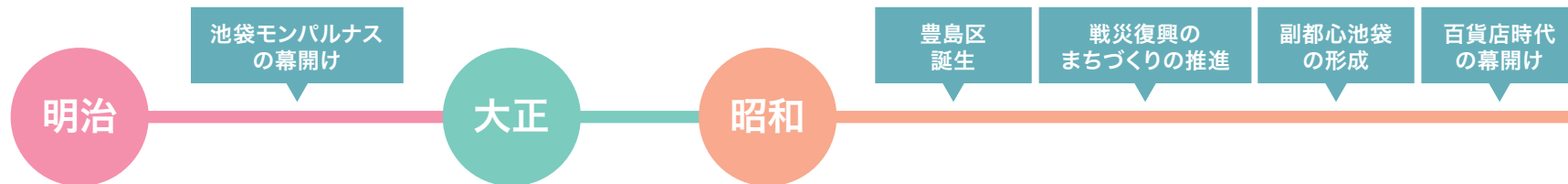
池袋が紡いできた、これまでのまちづくり

- 1903(明治36) 日本鉄道豊島線池袋駅が開設
- 1909(明治42) 豊島師範学校が創立
- 1914(大正3) 東上鉄道開通
- 1915(大正4) 武蔵野鉄道開通
- 1918(大正7) 立教学院立教大学開校
- 1921(大正10) 自由学園開校
- 1932(昭和7) 区制施行により豊島区が誕生
- 1936(昭和11) 桜ヶ岡パルテノン建設(70軒ほどの貸しアトリエ)
- 1939(昭和14) 市電開通
- 1945(昭和20) 東京大空襲



戦後の開市

株式会社そごう・西武提供



昭和27年頃の池袋駅東口

株式会社そごう・西武提供

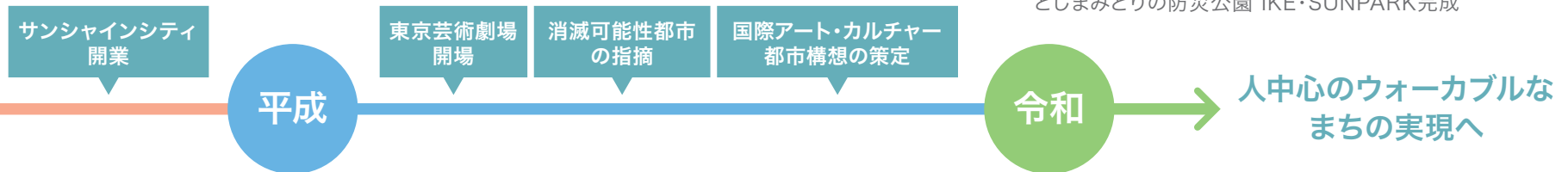
- 1946(昭和21) 戦災復興土地区画整理事業の都市計画決定／池袋東口連鎖マーケットの建設／池袋西口戦災復興マーケットの開設
- 1947(昭和22) 東洋映画劇場、エトワール劇場が開場
- 1949(昭和24) 西武百貨店(武蔵野デパートを改称)が開店
- 1952(昭和27) 豊島公会堂が落成
- 1953(昭和28) 池袋駅前公園が開園
- 1954(昭和29) 営団地下鉄丸の内線開通／池袋東映劇場が開場
- 1958(昭和33) 池袋が「副都心」に位置づけ／池袋観光協会の発足
- 1960(昭和35) 池袋駅東西を結ぶ中央地下道開通
- 1961(昭和36) 豊島区総合庁舎が竣工

- 1962(昭和37) 東武百貨店が開店
- 1963(昭和38) 通称「ビックリガード」が全面開通
- 1964(昭和39) 池袋・新宿・渋谷「3副都心連絡協議会」の発足
- 1966(昭和41) 池袋大橋開通
- 1969(昭和44) 池袋パルコの開店／首都高速5号線開通
- 1970(昭和45) 池袋西口公園開設
- 1974(昭和49) 営団地下鉄有楽町線開通
- 1978(昭和53) サンシャインシティ開業
- 1985(昭和60) ホテルメトロポリタン開業
WE ROAD改修
- 1987(昭和62) 池袋ルネッサンス構想



GLOBAL RING 完成

- 2019(令和元) 中池袋公園改修／池袋西口公園 GLOBAL RING完成
- 2020(令和2) SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定／Hareza池袋全体開業／としまみどりの防災公園 IKE・SUNPARK完成



サンシャイン 60 竣工

- 1990(平成2) 東京芸術劇場開場／池袋駅路上空間東西連絡デッキ構想
- 1992(平成4) メトロポリタンプラザビル開業
- 1994(平成6) サンシャイン60通りモール化完成／アゼリアロード(池袋駅地下通路)開通
- 1996(平成8) ロマンス通りモール化完成
- 1999(平成11) 豊島清掃工場竣工
- 2008(平成20) 東京地下鉄副都心線開通
- 2014(平成26) 消滅可能性都市の指摘を受ける(東京23区で唯一)
- 2015(平成27) 豊島区新庁舎完成／特定都市再生緊急整備地域に指定(池袋駅周辺)
- 2016(平成28) 国際アート・カルチャー都市構想の策定／南池袋公園の整備

[参考「副都心池袋の変遷」豊島区街づくり公社]

ウォーカブルなまちを目指す上での問題意識

これまで培ってきた地域文化。かたちづくられてきた都市の姿。育んできたシビックプライド。
これらのシナジーを面的に展開することがウォーカブルの鍵。

1日あたり約265万人

これだけの人々が乗降・乗り換えする国内第3位の池袋駅。

しかし、その多くは駅構内に留まっているのが現状です。

また、駅の外に出ても、まちなかを回遊するなど、

十分な滞在・滞留には至っていない状況もあります。

既にある都市の資源をもっと積極的に活用し、

多くの人に池袋ならではの地域文化を体感し、

池袋というまちの魅力を感じながら

まちなかを回遊してほしい。

そのためには、民間主体の発想力や機動力で

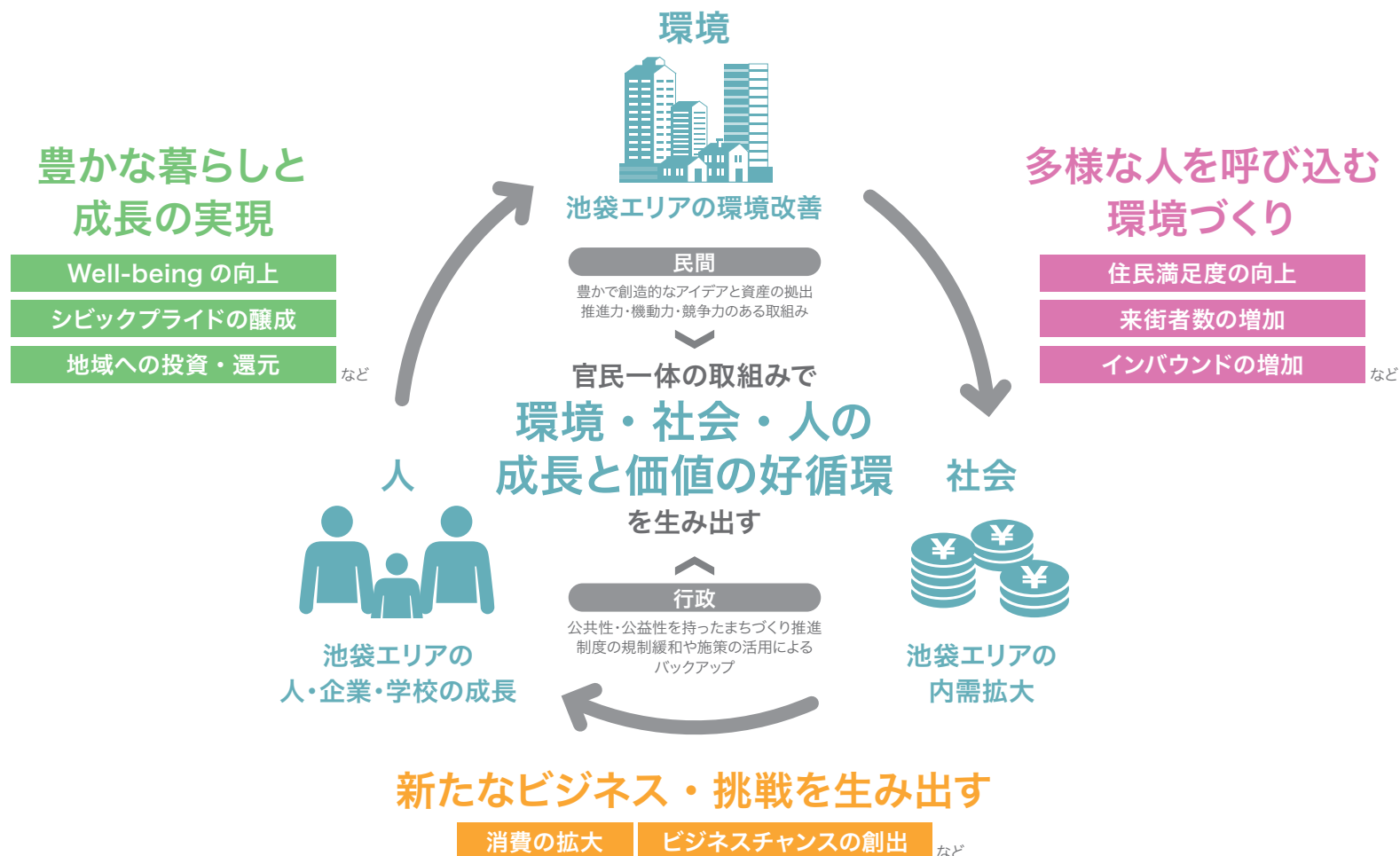
まちの未来を描き、アクションしていく必要があります。



6 池袋エリアプラットフォームが考えるこれからのまちづくりの考え方

産官学民一体の取組みで、池袋エリアの環境・社会・人の好循環を生み出す

産官学民一体となり、多様な人を呼び込む「環境」づくり、新たなビジネス・挑戦を生み出す「社会（経済）」づくり、豊かな暮らしと成長を実現する「人」づくりにより、池袋エリアの成長と価値の好循環を生み出します。





IKEBUKURO
MIRAI
VISION 2

まちづくりの今を、探究しよう

世界のまちづくりは、今

環境志向の劇的な高まり

“環境最優先”という考え方は、都市政策において、日本ではまだ特別な考え方ですが、世界では当たり前。



コペンハーゲン

自動車交通による環境悪化を改善するために車道を完全に歩行空間化。



コペンハーゲン

環境にやさしい移動手段を優先するために車道縮減・自転車道整備を推進。

人を中心としたまちづくり

車中心の社会から、「人」中心の“人にも環境にもやさしいまちづくり”が世界ではスタンダード。



パリ市 HPより

コロナ危機を機に大きく動き出している「15分都市構想」はパリをはじめとして世界各地へ。



バルセロナ

車の流入を抑制し安心安全な居場所づくりを進めているスーパーブロック政策。

民間主導のプレイスマネジメント

行政だけに頼らず、自分事化。自分たちのまちは自分たちで活用し、育てることが大切。



世界で広がっているエリアマネジメント。民間主導によるマネジメントでエリア価値が向上。

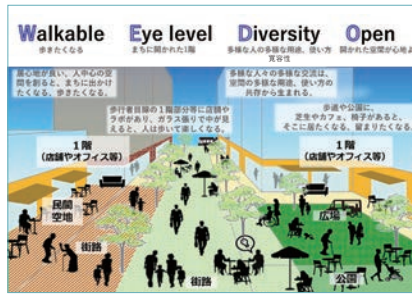


公園や道路を、価値ある「人のための場」へ。創造的な民間の力がまちを動かしています。

日本のまちづくりは、今

日本でも進む、ウォークシフト

「WEDO」。これは、日本全国で広がるウォカブルなまちづくりを牽引するスローガン。“ウォカブル(W)、アイレベル(E)、ダイバーシティ(D)、オープン(O)”。2023年9月時点で、352の地域がウォカブルを宣言しています。



【国土交通省HPより】



御堂筋(大阪市)

【大阪市HPより】

将来的には完全モール化を目指し、側道の歩行空間化やファニチャー整備の他、道路協力団体制度や歩行者利便増進道路制度など新たな仕組みを活用しウォカブルを推進。



丸の内(千代田区)

進化を重ねる丸の内の「Marunouchi Street Park」。単なる居場所づくりだけではなく、レクリエーション、ワークスタイルなど新しい都市の在り方を追求しています。

都市部で広がる「GX(グリーントランスフォーメーション)」

豊かな環境や空間を中心とした都市の開発。カーボンニュートラルをはじめとした環境変化への対応。我が国のまちづくりは、新しいアイデアと価値観を共創する時代に入っています。

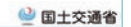


うめきた第2期(大阪市)

新しい都市開発面積の半分を緑地・公園化することで、都市にかけない価値を生み出す試みが進められています。

【提供：グラングリーン大阪開発事業者】

まちづくりGXに向けた施策について



背景・必要性

- 都市の緑地は、森林地・農地等の減少や荒廃等が見られ、その質・量の確保が喫緊の課題となっている。
- ※国策：国土形成計画(4000-21000)
- 都市において、①**気候変動への対応**(CO2の吸収・蓄積対策等)、②**生物多様性の確保**(30x30*)、新型コロナウイルス危機を契機とした③**Well-Beingの実現**に資する居住・活動のための空間づくりが求められている。
- ※30x30: 2022年12月に閣議されたCOP15で合意された生物多様性の観点から2030年までに陸の30%以上を保全するという目標
- そのため、上記の全ての観点から大きな役割を有する都市緑地について、**緑地を、a) ネットワーク化し、b) 民間の資金も有効に活用した確保策や、自治体等による緑地確保等の取組推進の方策を検討する。**
- 併せて、面的エネルギー供給の促進による都市のエネルギー利用の効率化、都市による郊外部等の緑の保全への貢献等についても検討を行う。

- | | |
|--|---|
| <p>1. 緑地に関する官民の共通認識の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画の中に自然的基盤をより明確に位置付けると共に、国・自治体による都市の緑地に関する目標を打ち出す。 広域の視点から計画的に緑のネットワークを形成し、緑の機能発揮による魅力的なまちづくりを推進。 | <p>2. 都市の緑地に対する民間投資の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 良質な都市の緑地を創出・維持するプロジェクト等を客観的指標で積極的に評価し、民間資金を惹きつける仕組みを導入。 ※有識者検討会において検討中 |
| <p>3. 自治体による緑地の保全・整備の推進等</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市の貴重な緑地の保全や質の向上に関し、自治体による「自治体による都市の緑地に関する目標」を打ち出す。 国との連携や民間資金を強化する仕組みを構築。 | <p>4. 都市のエネルギー利用の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー密度の高い一定のエリアにおける取組に対して、国・自治体による支援を行うとともに、デジタル技術の活用によるエネルギー利用の効率化に向けた仕組みを導入し取組を促進。 |



国土交通省では、2050年カーボンニュートラルの実現、気候危機への対応など、グリーン社会の実現に向け、「国土交通省グリーン社会実現推進本部」を設置し、「脱炭素社会」、「気候変動適応社会」、「自然共生社会」、「循環型社会」の実現に取り組んでいます。

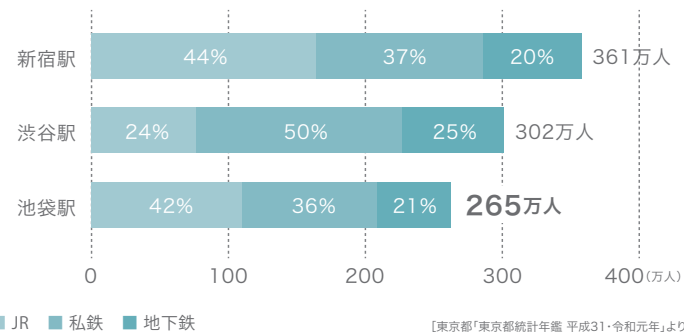
【国土交通省HPより】

池袋駅の利用者数は国内第3位。駅からまちへ、もっと人の流れを。

新宿・渋谷に次いで国内第3位の乗降客数を誇る池袋駅。
しかし、多くの方は乗り換え利用で、まちに出るのは利用者の1/4ほどとなっています。

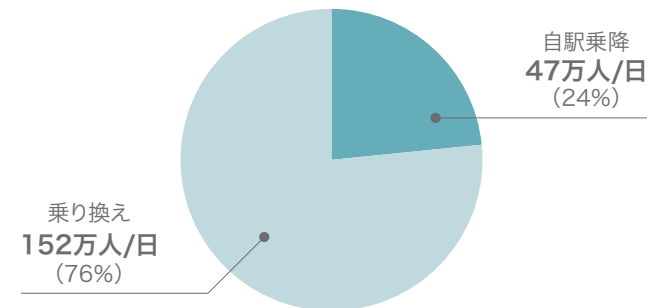
一日平均乗降客数 TOP3

一日平均乗降客数の国内TOP3は、1位：新宿(約361万人)、
2位：渋谷(約302万人)、3位：池袋(約265万人)。



池袋駅利用者の自駅乗降・乗り換への割合

池袋駅における乗降客数の約3/4は乗り換えで利用するだけで、約1/4しかまちに出ていない。



[平成27年度交通センサス 豊島区「池袋副都心交通戦略」より作成]

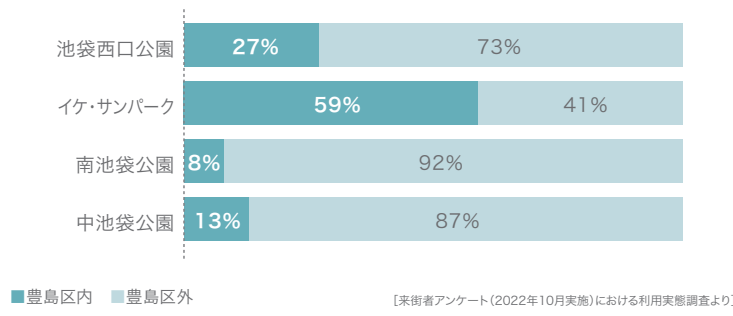


池袋の代名詞ともなった公園再生は、活動の多様化と地価上昇に寄与。

池袋駅周辺で再整備された4公園はエリア特性に応じた都市活動の場として活用されており、周辺エリア価値にも好影響を与えていると指摘されています。

大きく異なる4公園の利用者属性

池袋駅周辺の4公園は、それぞれ利用者属性が大きく異なり、特にイケ・サンパークは区民の子育て世代による日常利用、中池袋公園や南池袋公園は区外の10~20代による来街時利用が顕著となっています。



公園、緑地が周囲の不動産等に与える影響

都市における公園・緑地が、周囲の不動産価値等にプラスの影響を与えるという先行研究が多く、池袋においても4公園整備が周囲の地価上昇等に好影響を与えている可能性がある。

[公園、緑地が周囲の不動産等に与える影響]

Crompton & Nicholls (2020)	先行研究より米国の公園の経済効果が150m~600mに及ぶこと、8~10%程度の地価上昇が目安になることを確認。
Black & Richards (2020)	NYのハイラインで沿道80mで35%の住宅販売価格の増加を確認。
矢澤・金本 (1992)	緑地施設は200m以内の地価にプラスの効果があり、特に50m以内で有意に地価を上げることが示した。
楠本 (2016)	神戸市で公園の400m以内で住宅地の地価が5%上昇することを確認。
Shimizu et al. (2014)	東京圏で、飲食店や公園等のアメニティが集中しているエリアは、住宅家賃が高いこと、都市のアメニティの多様性が高いほど住宅家賃が上昇すること等を指摘
Voicu, I., & Been, V. (2008)	米国ニューヨークで、コミュニティガーデンが、300m以内の不動産物件の販売価格に有意にプラス。特に、貧しい地域で最も効果が大きい(不動産価値を9.4%上昇)こと等を示した。
鈴木・浅見 (2014)	練馬区の新築戸建住宅の取引価格について、1,000㎡以上の農的土地利用は狭小住宅にとってプラス、1,000㎡未満の農的土地利用はマイナスの効果を与えること等を示した。
青島他 (2017)	神戸市等で生活満足度に緑地が与える影響について、都市緑地が森林の6倍の価値を有することを示した。

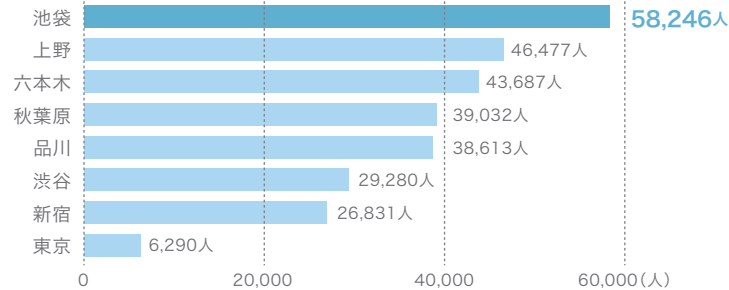
[国土交通省 国土交通政策研究所資料「土地政策に関する経済的視点」より抜粋]

商業業務地と住宅地が近接
外国人比率も23区で第2位

駅周辺の居住人口の多い池袋。来街者やワーカーのみならず「暮らし」の環境があります。さらに人口に対する外国人比率が23区で第2位であることも特徴です。

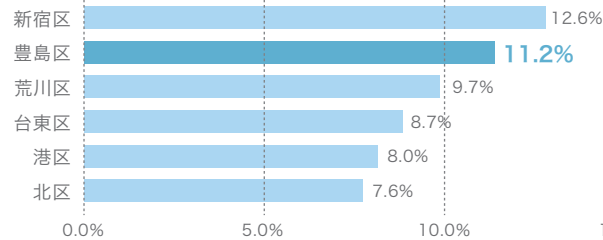
駅1km圏の居住人口

駅周辺1km圏の居住人口は池袋駅が約6万人弱で、東京の主要な駅と比較して一番多い。



人口のうち外国人居住者の割合

豊島区は人口に占める外国人の割合が23区で2位。

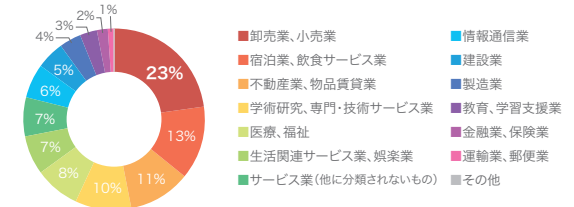


サービス産業が支えている池袋経済
“食”のイメージはありつつも伸び代が

小売業は新宿に次ぐ売上高。ラーメン店など“食”のイメージが強いが、飲食店数は渋谷・新宿より少なめ。良質でバリエーション豊富な“食”の提供がカギ。

豊島区の事業所数

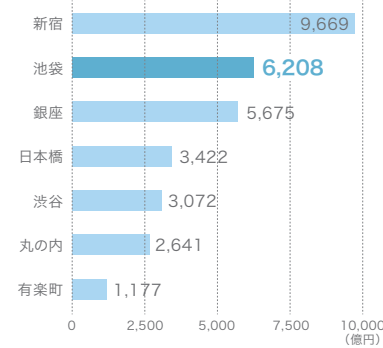
「卸売業・小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順で多く、この2業種で事業所の約4割を占める。



[総務省「令和3年経済センサス」より作成]

小売業の
年間商品販売額

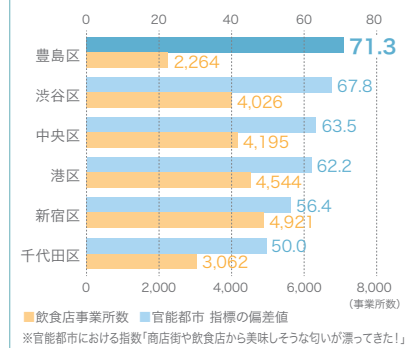
東京の主要エリアのうち
新宿に次ぎ2位。



[総務省「令和3年経済センサス」より作成]

豊島区の飲食店数と
食を感じる指標*

東京の主な都市と比べて豊島区は飲食店数は少ないものの、まちで食を感じる指標*が高いことが特徴。



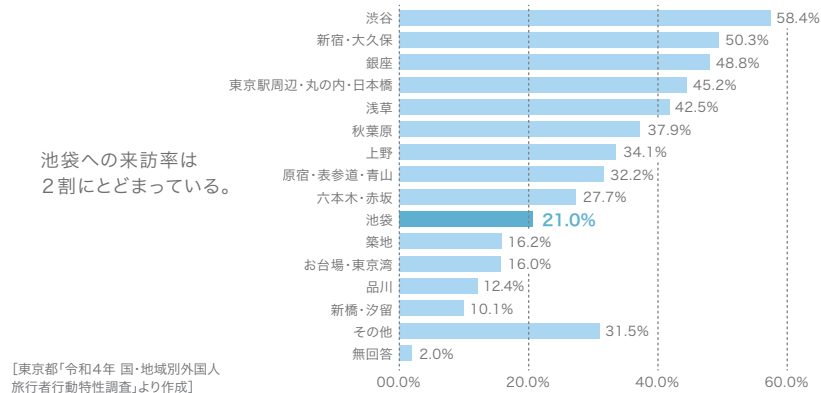
※官能都市における指数「商店街や飲食店から美味しそうな匂いが漂ってきた」
[LIFULL HOME'S 総研「官能都市」及び総務省「令和3年経済センサス」より作成]

外国人観光客の訪問数は少ない池袋 文化的な体験提供がねらい目

グローバルブランドのホテルがなく、外国人観光客の訪問数はまだ少ない池袋。まちでの文化的な体験提供など、認知度向上に成長余地がありそうです。

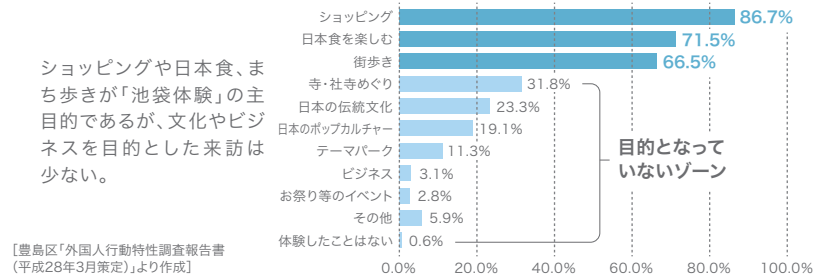
訪都外国人観光客の訪問した場所

池袋への来訪率は
2割にとどまっている。



池袋（豊島区）で体験したこと

ショッピングや日本食、まち歩きが「池袋体験」の主目的であるが、文化やビジネスを目的とした来訪は少ない。



多彩なアート・カルチャーの情報集約と 効果的な情報発信がカギ

池袋ではアート・カルチャーでのまちづくりが進められていますが、情報発信に課題。情報集約と効果的な情報発信が必要です。

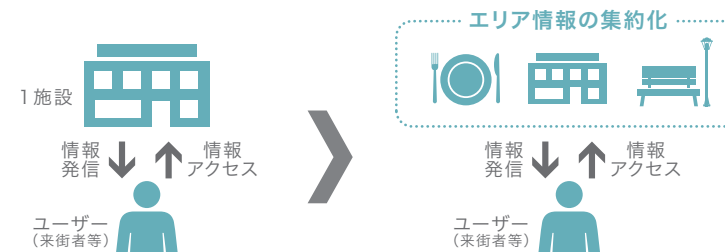
まちづくり記念事業(抜粋)



【豊島区「国際アート・カルチャー都市 実現戦略推進事業」より作成】

来街者への情報発信の現状

現状、個別の施設やプロジェクトからの情報発信となっており、関連する周辺施設やイベント情報等が効果的に発信されていません。

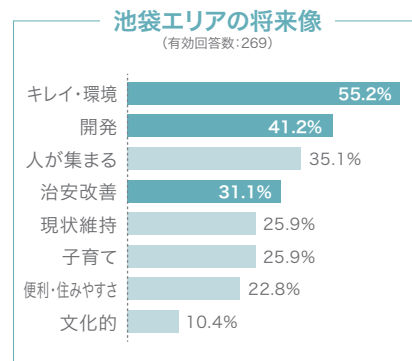
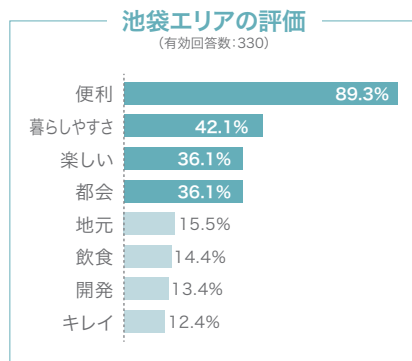


来街者・住民の声

来街者ヒアリング調査やオープンワークショップを実施し、池袋のまちに対するリアルな声を聞きました。

池袋の評価は「便利で暮らしやすいまち」 一方、「まちの快適性や安全性」が求めている

池袋のまちに対する評価は、「便利」「暮らしやすい」「楽しい」が多数。一方、まちの改善点として、「きれいな環境」「治安改善」等が挙げられています。

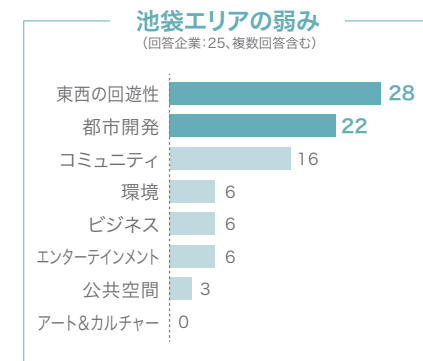
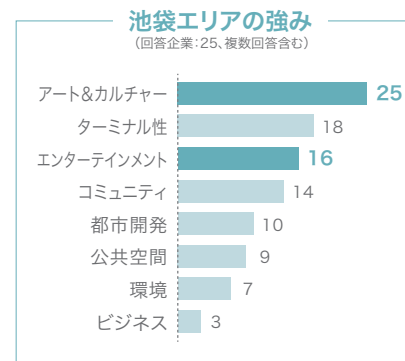


ワーカーの声

会員企業向けアンケート調査やワークショップを実施し、今後の池袋のまちづくりについて意見交換をしました。

池袋のまちの強みは「アトカル・エンタメ」 弱みは「まちの回遊性」と認識

池袋のまちの強みとして、アニメやマンガ、商業(飲食・娯楽)など、アトカルとエンタメ分野を評価。一方で、池袋駅のターミナル性は高いものの、東西の行き来やまちの回遊性の少なさを問題視。



まちの「快適性」を向上する取組みや 「共創」する取組みについて関心が高い

まちに必要な取組みとして、「まちなかの快適性」や「民間施設のグランドレベルのオープン化」等を求める意向が多数。産官学民の連携、共創による新たなプロジェクトが求められています。



エリア内のマッチングの要望多数 「地域コミュニティ」との連携を重視

今後、池袋のまちでより活動しやすくするため、場や人、情報に関するマッチングを要望する声が多く。また、今後のまちづくりにおいて、「コミュニティ」「都市開発」を重視。



専門家・有識者の声

専門家・有識者を招聘した「勉強会」を開催し、今後、池袋が目指すべきまちづくりの方向性を語っていただきました。

グランドレベルの開放と 使いたくなるデザインが重要

建物の1階をまちに開放し、動的な空間として利用することがポイント。その際、空間のデザインも重要で、来街者がつい使いたくなるような仕掛けが必要。



民間発信の取組みを推進し、 行政を巻き込んでいくことが重要

民間だからこそできる、民間ならではの活動や取組みを推進していくことが重要。まずは、スモールスタートではじめ、最終的に行政も巻き込み、制度化を目指しましょう。



池袋の現在地の把握と 外向けの情報発信が重要

まず、池袋が外からどう見られているのか、認識することが重要。その上で、多様なターゲットに向けて、プロモーションを進めていくことが重要。



企業が地域をサポートする 環境づくりが求められる

企業として、コミュニティや地域の活動をサポートする役割があると思う。そのため“余白(関わりしろ)”をまちなかに作ると良いのでは。



まちなかに出会いや交流の 機会づくりがあることが重要

ビジネスにおいて、顔と顔が見える関係性が重要で、それはまちづくりも同じ。そのきっかけとなる出会いや交流の機会がまちなかにあると良いのでは。



池袋のまちの “寛容性”を高めることが重要

様々な属性の人が集まる池袋では、まち全体の“寛容性”を高めていくことが必要。そのためには、まちの関係者の事を学び、対話をしていくことが重要。



世界・日本・池袋の まちの探究とまちの声

世界を知り
日本を知る

池袋の
まちの今

まちの声
専門家・有識者の声

池袋の未来を描く上で外せない「切り口」

視点1 公共空間・回遊性

居心地が良く、 人中心でウォーカブルであること

来街者の快適で安全なまちなかでの滞在時間を増やし、地域消費や投資の拡大等を促進し、新たな価値創造につなげるために、居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブル」なまちづくりが求められています。



視点2 ビジネス・都市開発

池袋の多様なリソースをつなぎ、 新たなビジネスチャンスを創造すること

都市間競争を勝ち抜くためには、池袋ならではの魅力・価値の創造が必要不可欠。池袋の多様なリソースによる協働・共創プロジェクトの促進により、新たなビジネスチャンスの創造が求められています。



視点3 レジリエンス(みどり・防災)

選ばれる都市にふさわしい、 環境性能と持続性を備えていること

地球環境や自然災害への対応は、都市が備えるべき基本性能。選ばれる都市であり続けるために、環境にやさしく安全安心で持続可能なまちづくりが求められています。



視点4 シティプロモーション

他都市との差別化を図り、 まちの寛容性を高めること

池袋のまちの魅力や価値について、新宿・渋谷など他都市との違いを知り、効果的な発信をすることが重要。そして、池袋のまちの更なる成長を促すため、まちの寛容性を高めることが求められています。



視点5 コミュニティ

人と人が出会い、新たなコミュニティを 育める場であること

まちなかでの人と人の出会いは、新たな発想や活力を生み出す原動力。まちなかで人が出会い、交流することができる、居場所づくりが求められています。



視点6 アート・カルチャー

池袋ならではの 文化・芸術を体感できること

豊かな暮らしや生活を営む上で、文化・芸術は欠かせない要素。池袋ならではの文化・芸術を、まちなかで表現し、体感できるようなまちづくりが求められています。



IKEBUKURO
MIRAI
VISION 3

未来ビジョン

池袋の未来ビジョンを描く上で、私たちが大切にしたいまちづくりの基本理念

コミュニティと共にあること

池袋は、住もう人、働く人、訪れる人、それぞれの個性豊かなコミュニティが同居していることが大きな特徴です。私たちは、これからもコミュニティやつながりを大切にしたいまちづくりに取り組み続けます。



多様性を育むこと

池袋は、いつの時代も多様な文化・人が集うことで、多様性を培ってきました。私たちは、これからも寛容性を大切に、多様性を育むまちづくりに取り組み続けます。



持続可能性を常に意識すること

池袋は、官民が連携し、サステイナブルなまちづくりに取り組んできました。私たちは、新しい技術や価値観を積極的に取り込み、これからも持続可能なまちづくりに取り組み続けます。



まちづくりのコンセプト

感動共奏都市

Sessionable City

～共に創り、共に奏でる～

ひとりひとりの個性（音色）が輝き、響き合うこと。

多様な文化や活動（旋律、ハーモニー、リズム）となって、奏で合うこと。

いつしか壮大な協奏曲となって、みんなで感動を共感し合うこと。

私たちは、池袋を舞台に人と人が出会うことで、多彩な音色を奏でていきたい。

池袋を、感動のステージへ。

来るたびに、歩を進めるたびに、新しい感動を。

※「Sessionable」は造語です。ジャム・セッションという言葉が示すように、「セッション」には演奏者のアツい想いが込められていると考えます。
「ここに来ればいつでもアツいセッションが出来る」。そんな意味を「Sessionable」という言葉で表現しています。



「共奏」で「感動」を生み出すために実現したい、3つのまちの姿

文化に触れ、アートを育む。 豊かな感性で心躍るまち

まちかどで、ストリートで、店先で。池袋ならではのアート・カルチャーをより一層育んでいくことで、日常を豊かに彩り「心躍るひと時」が広がるまちづくりを目指します。

アート・カルチャー、シティプロモーション



いつ来ても、いつまで居ても。 時間を忘れるほど楽しいまち

池袋のまち全体が、緑に溢れた魅力的なパブリックスペースでつながり、また個性あるグランドレベルにより、誰もが居心地よく楽しく回遊できるまちづくりを目指します。

公共空間・回遊性、
レジリエンス(みどり・防災)



感動共奏都市

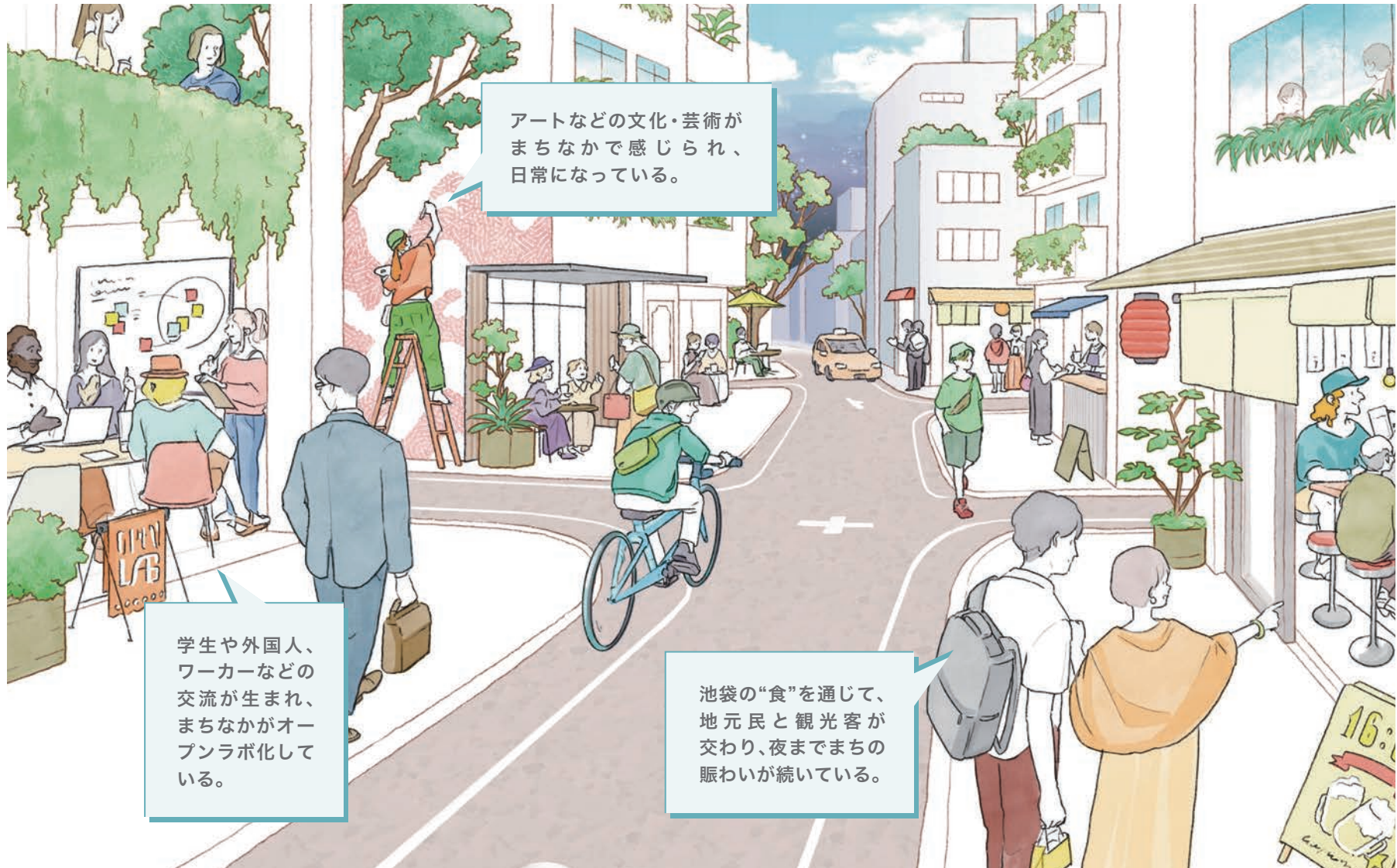
暮らしも、挑戦も。 新しい発見に溢れた創造的なまち

池袋で住まう人、働く人、訪れる人たちの中にあるコミュニティ。そのコミュニティが創造的であったなら、まちはもっと魅力に満ち、新しいコミュニケーションを生み出すはず。あらゆるライフスタイルが創造的であるまちづくりを目指します。

コミュニティ、
ビジネス・都市開発







池袋未来ビジョンの全体像

大切にしたい
基本理念

コミュニティと共にあること

多様性を育むこと

持続可能性を常に意識すること

まちづくりの
コンセプト感動共奏都市 ～共に創り、共に奏でる～
Sessionable City実現したい
3つのまちの姿

いつ来ても、いつまで居ても。

時間を忘れるほど
楽しいまち

公共空間・回遊性、レジリエンス(みどり・防災)

- 通りが歩行者空間化され、マルシェやオープンカフェが多くの人で利用されている。
- 通りや建物がみどりあふれる気持ちの良いまちなかになっている。
- 公園やストリート・公開空地などで、多彩なスポーツなどのプログラムが行われ、人々がいきいきと活動している。

文化に触れ、アートを育む。

豊かな感性で
心躍るまち

アート・カルチャー、シティプロモーション

- まちなかで音楽やコスプレを楽しめ、エンタメ文化が交わっている。
- アートなどの文化・芸術がまちなかで感じられ、日常になっている。

暮らしも、挑戦も。

新しい発見に溢れた
創造的なまち

コミュニティ、ビジネス・都市開発

- 学生や外国人、ワーカーなどの交流が生まれ、まちなかがオープンラボ化している。
- 池袋の“食”を通じて、地元民と観光客が交わり、夜までまちの賑わいが続いている。

将来のまちで
描きたいシーンリーディング
プロジェクト

(仮)World Street Projects

歩行者空間拡大、ベンチ・グリーンプロジェクト、モビリティ、デザインガイドラインなど

(仮)World Art Projects

まちなかアートプロジェクトなど

(仮)World Culture Projects

アニメや音楽、飲食などのカルチャーを中心としたプロジェクトなど

池袋未来ビジョンに示すまちの姿の実現に向けて、
エリプラ会員やまちづくり活動に興味・関心のある方々と連携・共創を図りながら、
池袋エリアの更なる成長と価値向上の好循環を生み出します！

IKEBUKURO
MIRAI
VISION

4

実現に向けてすべきこと


池袋エリアプラットフォーム会員の心得と取組み

池袋エリアプラットフォーム


会員の心得

池袋エリアプラットフォームの会員は、3つの心得をもとに活動し、池袋未来ビジョンの実現を目指します。


心得 1 **自分事として
前のめりに挑戦しよう!**

 池袋未来ビジョンの実現に向けて、会員それぞれが主体的・積極的に取り組もう!

心得 2 **エリア関係者と
積極的に繋がろう!**

 個人から企業まで、住民から来街者まで、ジャンルや世代を超えた「つながり」をつくり、新しい中間の輪を広げよう!


心得 3 **共に創り、共に奏でよう!**

 仲間たちと一緒に、想像を超える化学反応で、新たな価値創造に挑戦しよう!そして、活動と発信を続け、新たな「池袋ファン」の獲得につなげよう!


取組み

池袋エリアプラットフォームは、池袋エリアの様々な課題や将来のまちづくりの方向性について検討し、必要な体制整備や具体的なプロジェクトに繋げていきます。


「場」の共有・共創

 まちの公共空間や民地空間(公開空地・空き店舗・空き会議室等)の情報を共有し、多様なニーズに応える利活用を推進します。

「活動」の共有・共創

 交流会などを通じて、池袋エリアの関係者が連携し、小さなアクションから挑戦できる環境を整えます。既存の活動や新たなチャレンジを面的に繋げて、まち全体の活動へとアップデートしていきます。

「情報」の共有・共創

 池袋エリアの人流やニーズに関する情報を一元化・可視化し、情報のシェア・共同発信を通して、まち全体のサービス力・ブランド力の向上を図ります。

住民
ワーカー
来訪者^{など}

情報発信

参加・協力等

エリア価値を
高める
プロジェクトの
展開

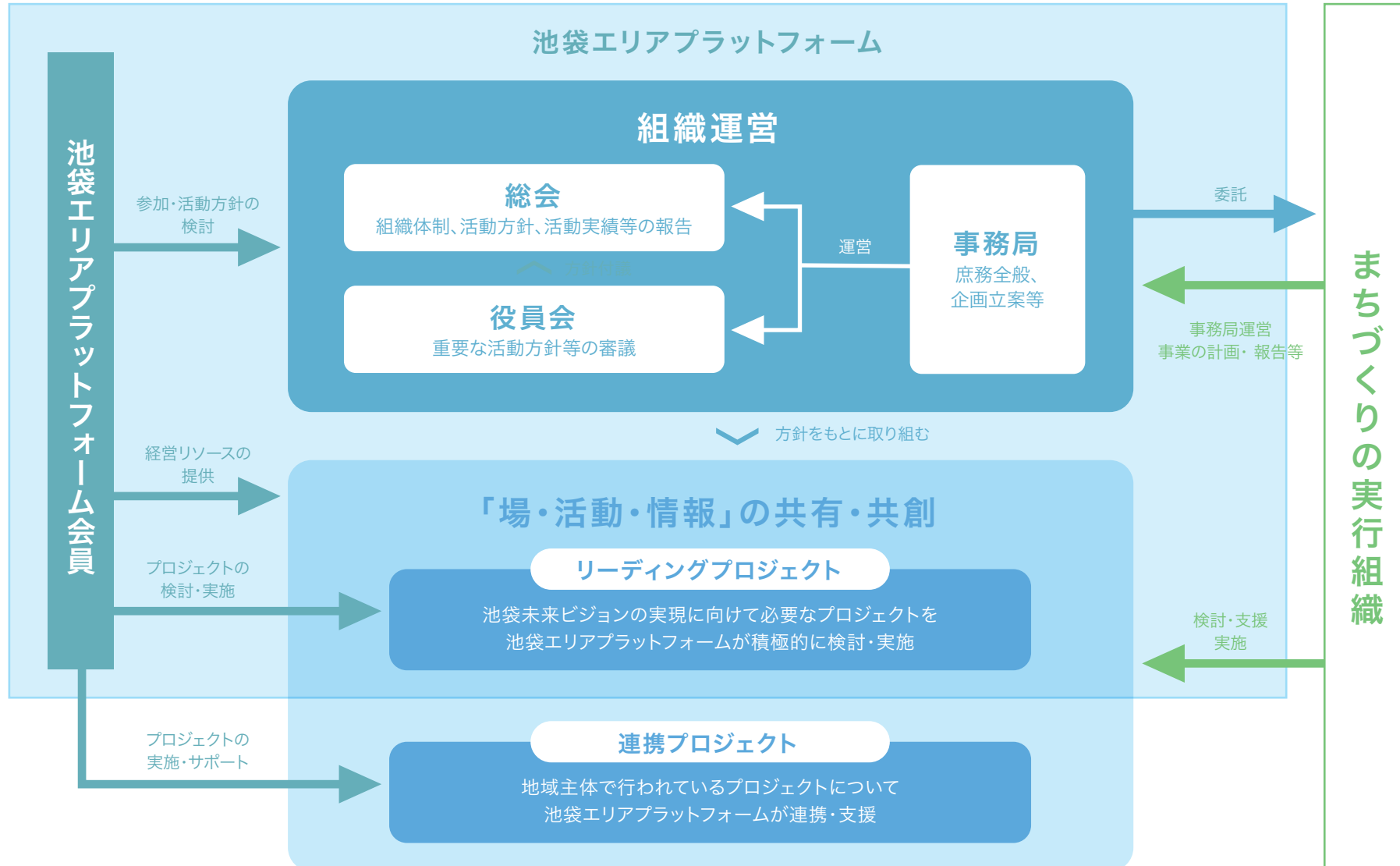
まちづくりの実行組織

今後、池袋エリアプラットフォームが実施する取組みの円滑化を図るため、事務局構成員を中心とした実行組織を立ち上げます。

役割 1 総会や役員会、事務局など、組織の運営を行います

役割 2 池袋エリアプラットフォームが行う「場・活動・情報」の共有・共創やプロジェクトを推進します

池袋エリアプラットフォームの体系と取組みの関係図



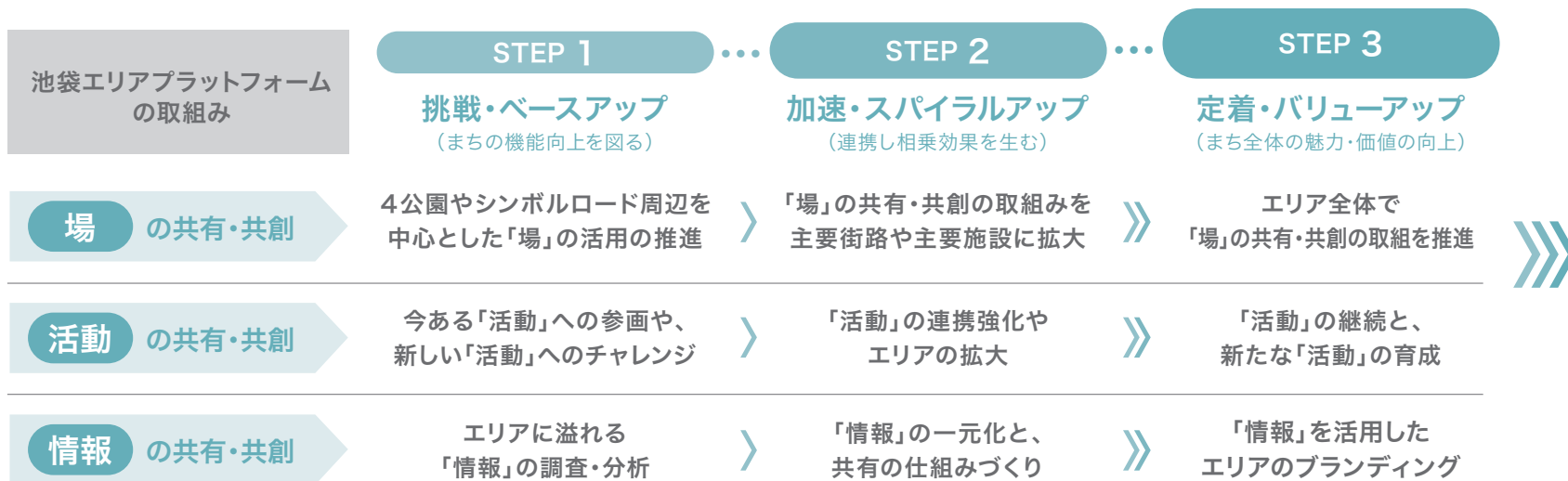
取組みの基本姿勢

池袋エリアプラットフォームが進める取組みは、次の3つの基本姿勢で行います。

基本姿勢 1	基本姿勢 2	基本姿勢 3
<p>スモールスタートで始める!</p> <p>小さなコトでも、今ある活動、新しくはじめる取組みを丁寧につなげ、大きく育てていきます。</p>	<p>柔軟な実行体制で進める!</p> <p>会員それぞれの立場やチャレンジしたいことを尊重し、柔軟な実行体制をとりながら、活動を進めていきます。</p>	<p>PDCAサイクルでアップデートする!</p> <p>社会・地域・来街者のニーズに耳を傾けながら、ビジョンやプロジェクトの内容をアップデートしていきます。</p>

取組みのロードマップ

池袋エリアプラットフォームの取組みは、点から線へ、線から面へ、段階的・継続的に進めていきます。



『感動共奏都市』の実現へ!

池袋のまちづくりに興味のある方へ

池袋のまちづくりへの関わり方は、様々です。

池袋のまちづくりに興味がある個人・企業・団体の方は、自分に合った形で、池袋に関わってみませんか？

関わり方 1 FUN!



池袋のまちを楽しもう！

気軽に池袋を訪れて、新しい
発見・体験をしてみましょう！

関わり方 2 ACTION!



やりたいことを持ち込もう！

共に取り組む仲間を見つけて、
やりたい活動を実現しましょう！

関わり方 3 JOIN!



仲間と共に「共奏」しよう！

共に課題を考え、挑戦する。
私たちと共に、まちづくりに取り組みましょう！

池袋エリアプラットフォームでは、まちづくりに活用できるエリア資源を探しています

- 場** ●使っていない軒先空間や空地 ●空きテナント・会議室等の利用されない時間帯 など
- 活動** ●エリアを広げたい・連携したいイベント ●参加者を広げたい清掃等の公益的活動 など
- 情報** ●発信したいエリア情報 ●購買情報等のデータ など

池袋のまちづくりに興味のある方・活用できるエリア資源をお持ちの方は、池袋エリアプラットフォーム事務局までご連絡ください！

池袋エリアプラットフォーム

事務局：株式会社サンシャインシティ/東京建物株式会社/独立行政法人都市再生機構/豊島区

お問合せ先：(株)サンシャインシティ まちづくり推進部

Mail: ike-areaplat@sunshinecity.co.jp

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル9階

池袋未来ビジョン Ver.1

2024年5月 初版発行

発行者：池袋エリアプラットフォーム

【事務局】株式会社サンシャインシティ／東京建物株式会社／独立行政法人都市再生機構／豊島区

イラスト：オノタツヤ

※本書の無断転写・複製・使用は禁止します。